

持続可能な観光の国際基準を学ぶ GSTC公式トレーニング 神鍋

GSTC Sustainable Tourism Training Program

3月18日（火）～ 20日（木・祝）

訪日外国人数はコロナ前（2019年）を越え、地域活性化にとって、観光に持続可能性はますます重要なものとなっています。神戸大学のリカレント教育の一環として、「持続可能な観光」についての第一人者をお招きし、GSTC（グローバル・サステナブル・ツーリズム協議会）によるセミナーを兵庫県但馬地域の神鍋（豊岡市）で開催します。3日間の研修すべてを修了すると、国際認証団体GSTCより修了証明書が発行されます。



©志ん屋

会場：「道の駅 神鍋高原」

定員：25名（申込先着）

対象：産官学などの分野で持続可能な観光に関心のある方

内容：二神真美氏の講義など

※プログラム詳細は裏面に記載

【全日程の参加が必須となります】

主催：GSTC (Global Sustainable Tourism Council)

共催：神戸大学国際文化学研究科

費用：無料

受講料はありませんが、参加形態に応じて宿泊費（12000円/1泊（1名1室））や食事代（別途）などが必要となります。任意参加の懇親会も開催します
3/18は10時に現地集合、3/20は16時半に現地解散の予定です。

問合せ

JTB神戸支店（今崎）<t_imasaki282@jtb.com>
神戸大学国際文化学研究科（辛島）<karashima@people.kobe-u.ac.jp>

プログラム

日時（2025年）		会場	内容
3月18日（火）	10：00～18：00 【道の駅で昼食】	道の駅 神鍋高原	GSTC公認トレーナーによる講義 ・持続可能な観光とは ・GSTC基準（産業）について ・GSTC基準（地域）について ・グループ討議など ・2日目夜に懇親会をします
3月19日（水）	9：00～17：00 【お弁当を用意】	道の駅 神鍋高原	
3月20日（木）	8：30～12：00 【お弁当を用意】	神鍋高原周辺	観光に関するフィールドワーク
	13：00～16：30	道の駅 神鍋高原	グループディスカッション

GSTCトレーニング講師：二神真美（名城大学名誉教授シニアフェロー）
日米で地域開発や文化について学び、各地の観光マネジメントを研究。国際認証団体や自治体にも関わり、研究者・実務家の両面で持続可能な社会を目指す。

フィールドワークコーディネーター：飯田勇太郎（志ん屋 代表）
豊岡市日高町出身。神戸で学び、2010年に地元の神鍋高原にUターン。旅行会社就職後、30歳を機に家業の民宿「志ん屋（しんや）」の4代目となる。

申込について【2月28日締切】

下のサイトか右のQRコードからお申込みください

<https://forms.gle/uPmdu2gPVFZvaywc6>

【電子メールを通じて主催者から連絡を差し上げます】



受講のメリット

企業や地域の中においてサステナブルな取り組みを実施していくためのリーダー的存在になる事ができます。

受講の修了証を得る事ができます。

サステナブルツーリズム試験（任意、別途料金が発生します）を受験することができます。

サステナブルツーリズム試験について

サステナブルツーリズム研修を受講し、修了証を取得した方がのみが受験可能です。

合格者は、the GSTC Professional Certificate in Sustainable Tourismを取得できます。

言語は日本語、費用はUSD75です。合格スコアは80%以上です。

試験期間は研修受講後、試験に関するお知らせを受信した日から1週間で支払い及び試験の提出が必須です。

試験形式はオンライン試験（選択問題と記述形式）で、研修で使用した資料やウェブサイト等の閲覧が可能です。

GSTCとは

GSTC（グローバルサステナブルツーリズム協議会）は、世界で唯一、国連世界観光機関(UN Tourism)やその他の国連機関、観光関連団体などの協力を受け、開発された持続可能な観光の基準となるGSTCクライテリアを管理している国際非営利団体です。